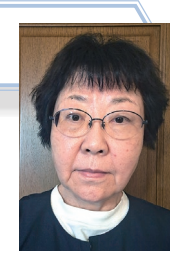
国際化の最前線から



地域から世界へ

杉並ユネスコ協会　佐藤　直子

地域から世界へ

世界遺産などで広く知られるユネスコ（国際連合教育科学文化機関）は、「戦争は人の心の中で生まれる」という理念のもと、平和の実現を目指して活動しています。この理念に共鳴し、1951 年、東京都内で最も早く設立された地域民間団体が「杉並ユネスコ協会」です。杉並ユネスコ協会は、地域の日常から世界へと平和の文化を広めることを目的に、教育・文化・科学を柱とした多彩な活動を展開してきました。

一般向けには平和を考える講演会やバスツアー、国際料理教室、SDGs 映画会、ギャラリーツアー等を通して、平和や環境問題などの社会課題に取り組み、平和を願うユネスコ精神を広く地域に伝える活動を行っています。

青少年向けには中学生クラブや国際交歓会、韓国や広島へのスタディーツアーなどに取り組んでいます。中でも、青年部が中心となり企画・実施する中学生と外国人との国際キャンプのように長年継続していることで中心的な活動となっています。

また、中学生クラブでは、英会話や国際理解講座を通じて異文化理解を深めています。さまざまな文化的背景を持つ外国人ゲストを迎えてその国の文化について話を聞いたり、落語体験を通じて日本文化に親しんだりと、学びの場は広がりを見せています。活動の中で、生徒たちは真剣に意見を交わし、自らの考えを発信しています。

また、一般向け・青少年向けの活動に加えて、ユネスコ世界寺子屋運動への支援、小学校での平和授業は特に注目されています。「誰もが取りこぼされない平和な社会」の実現を目指し、草の根からの活動を続けています。

こうした活動の基盤には、杉並区との強固な連携があります。教育委員会との共催事業をはじめ、社会教育センターとの協働により、70 年以上にわたり継続的な取り組みが行われてきました。地域と協力し合うパートナーシップが、活動の大きな支えとなっています。

このように、杉並ユネスコ協会の活動は多岐にわたり、共に楽しく学ぶ体験を通して、今後も次世代へとユネスコの平和精神を引き継いでいきます。

杉並ユネスコ協会国際料理教室

杉並ユネスコ協会 70 周年記念式典の様子

プロフィール

佐藤　直子（さとう　なおこ）
公立保育園・児童館勤務を経て、教育委員会教育センターにて教育相談員・スクールソーシャルワーカーの仕事に就く。退職後、関わっていた杉並ユネスコ協会の会長に就任。３期目を迎える。